

白を着て似合うのが 宝塚の二枚目です

春日野 八千代 & 杜平 けあきみ

△宝塚歌劇団・専科▽宝塚歌劇団・雪組

★Ohノタカラヅカ対談★

宝塚にいる以上、何でもお稽古を
平・杜 熟四等宝冠章受勲おめで
とうございます。

平 今回は春日野先生と一緒させて頂けて、とても幸せですし、みんなも緊張しています。

杜 お稽古の初日に先生がいらっしゃったから恥ずかしかったわ。二年前も『花夢幻』で

組時代に『宝舞抄』と『花小袖』と2回も出させて頂いてます。

春日野 そうね。ご縁があるって、私が声を枯らして『ヘタクソ!』と一生懸命教えた時からね。まあ成長したわねえ(笑)。

平 (笑)先生に舞踊会にも出た方がいいと言われて、勉強しようと思つて出たんです。

春日野 「五郎」は力持の役だから、いいわと思ついたら大変だったのよね(笑)。

平 (笑)大変でした。でも、そのときどきにいろいろ教えて頂けて私は幸せ者です。

杜 先生の舞台は必ず拝見させていただいてたんですけども、2年前に初めて稽古場をご一緒させて頂いて、指の先まで見えるような間近で、最初はただボーッとして見てたんです。私はターコさん(麻実れい)の代役がついてたので、振付から見させて頂けたんですけど、やっぱり見ていると、どこかに自然にしみ込んでいくんですね。全然違う時に先生があんな風に動いていらっしゃったな、というのが浮かんできますし。私は、小さい頃から盆踊りとかが好きで、日本物が性に合つて好きだったので今回、また稽古場でご一緒できるのがすごく嬉しいです。この前の公演の時も先生とすれ違うと、みんな下級生がタメ息ついちゃうです。美しくて。私たちはずっと学年が下だから、先生のそういう時代を知つているようで知らないんですね。

春日野 そうね。松あきらぐらいまでね。私の『カチューシャ』を見ているのは。

杜 だから、演つた後に『どうでしたでしょうか』と、わりに聞き



舞台上には平生の努力が全部出ます(春日野)

に行けるんです。知らないことは

恐ろしい（笑）というか、かえつ

て下級生の方が積極的になれるみ

たいですね。

春日野 私は、見かけによらずさ

つくばらんだから（笑）。やっぱ

り言つてくれれば嬉しいし、一生

懸命になりますから。中途半端で

ほつとけないのね。だからきっと

うるさいと思うの。

平 そんなことないです。

杜 下級生は友の会を作つてます

春日野 私は組長をやつていたの

で、主役をして、若い人たちのこ

とを全部して、自分の台詞を覚え

ている暇がなかった。映画の仕事

なんかもあつたし。組替の時にお

願いして専科に入れて頂いて、演

劇専科と

いうのは

私の時か

つたら、

ら出来た

んです。

専科だから

楽になつ

たかと思

つたら、

組に出る

ことにな

つたの。逆に

いろんな

公演が終

わつたら

もう次の

公演が始

まるとい

う感じだ

つたの。忙しい。

春日野 休んじやつて、本当に申

し訳なかつたのね。

平 春日野先生の代役で出たなん

て、夢の世界でやつたという感じ

なんですか？立つて、立つて、立つて

でも全然違うんで申し訳ないなと

思つうんですけど、生まれてからの

まだ見ぬ世界なのでひたすらお稽古です（社）幸せな気持ちがお客様に伝われば（平）

2、3日 春日野



で全部覚えなきやならない。その頃は振付が夜中にあつたりして、

4時頃までやつて家に帰つて、寝られるだけ寝てそれから公演に出でたんです。

平、杜 エーッ!! 考えられない。

春日野 台詞が覚えられないから一番最後の台詞だけ覚えといいて、似たような台詞を自分で作っちゃうの（笑）真似しちやダメよ、今は与えられた脚本に対して考える時間あるし、お客様が厳しくなつてきてているからね。

平 私にとって春日野先生は、世界が違う方なんです。そこに立つてらっしゃるだけで絵になる、何をしても形になる、という方で、

“花夢幻”の時に一週間代役をさせて頂いて、そこで本当に自分のヘタさ加減を知りましたね。お稽古場で何をやつていたんだろうと思ひました。振りがないから、いざ舞台に立つたら困つて困つて（笑）。清水の舞台から飛び降りたんじやなくて、飛び・上・が・つた感じでしたね（笑）。

春日野 休んじやつて、本当に申し訳なかつたのね。

平 春日野先生の代役で出たなんて、夢の世界でやつたという感じなんですか？立つて、立つて、立つてでも全然違うんで申し訳ないなと思つうんですけど、生まれてからの生活環境とか、すべて出ますでし

よう。だから真似しようと思つても真似出来なくて。

春日野 それは真似じやなくて、

平生の勉強、努力なんですよ。私はずっと日本物をやつてきたと思われがちだけど、本当はダンスの方が好きで、だから、今の人人がダンスのレッスンに出るのはわかるけれど、舞台人である以上、宝塚にいる以上は何でもやらなきゃ

いと、自分がやりたくてもやれない役がついてからじや遅いわけ。

宝塚の持ち味あふれる四月公演

春日野 宝塚の生徒は勉強していないけれど、舞台で日本物があるから、何んとなく衣装に対して身に付いていて、こまかされちゃう

の。だから、つい、まあいいや、

ということにもなるんですけど

初舞台生も一緒にフレッシュに



初舞台生も一緒にフレッシュに

杜 狂言の場面です。
春日野 茂山忠三郎さんの本格的な狂言の台詞は初めてね。

杜 手も足も出ないんです(笑)。ただ大きな声でしゃべっていると、いうだけですから。まだ見ぬ世界でもう稽古するしかないという感じです。でも、こういうことをさせて頂けるのも、なかなかないのですから。まだ見ぬ世界で必死でやります。

春日野 今度の「宝塚をどり歌舞」は、植田紳爾先生もあらゆることを見せようとしている。宝塚の生徒がいろんなことをこなしてい

る持ち味が出来ますね。

えちやう。不思議な所ねえ。だけども宝塚はお嬢さん芸ねえ」とおっしゃつてた。今はもう踊り以外は一応ちゃんと外部でも通じるものがあると思います。

平 本当に何回も春日野先生と一緒に出して頂いて、こんな幸せはないですし、その幸せが公演に出たらしいと思つてます。

春日野 あなたはとても素直だから。芸のうちで、それが一番大事なところだから。

平 耻ずかしいんですけど、私はそれしかないです。何回も巡り会えた幸せが公演に出せたら私自身は満足できると思います。

春日野 今度、杜さんはどの場面に出てるの。

杜 狂言の場面です。
春日野 茂山忠三郎さんの本格的な狂言の台詞は初めてね。

杜 手も足も出ないんです(笑)。ただ大きな声でしゃべっていると、いうだけですから。まだ見ぬ世界でもう稽古するしかないという感じです。でも、こういうことをさせて頂けるのも、なかなかないのですから。まだ見ぬ世界で必死でやります。

春日野 今度の「宝塚をどり歌舞」は、植田紳爾先生もあらゆることを見せようとしている。宝塚の生徒がいろんなことをこなしてい

る持ち味が出来ますね。

(62.2.28 欧風レストラン・カラベルにて)

ダンスは

アキコ・カンドさん

モダンダンサー

但馬久美さん

低く暗く、そして次第に

闇の中に射し込む一筋の光、低く暗く、そして次第にうねりのようにも高まっていくバルバラの歌声。光に向かいためらい、ゆらめき、そしてまた、しかと見すえて一足、一足、手をさし伸ばしてゆく。黒いドレスの裾をはためかせて踊り続ける身体に金の紙吹雪が降りそそぐ。

3月11日、神戸文化ホールで、多くの人を熱い思いで包み込んだアキコ・カンダさんと、宝塚歌劇団の名ダンサーであり、カンダ先生の愛弟子である但馬久美さん、に、公演前、踊りを巡る想いを語つて頂いた。

111

アキコ 私はマーサ・グラハムの公演を観て“モダン

ンスには、こんなにドラマがあるのか”ということに感動して、どうしてもマーサのところで勉強したいと思ったの。“テクニックではないハートの表現”それが私の踊りのスタート。苦しいけれども“踊ることが好きだ、創ることが好きだ”ということがアキコの命ではないかと思ったら、1962年に日本に帰ってきてから、すぐ宝塚で教え始めたから、リンちゃん（但馬）とは20年余のつき合いね。

但馬 私が研一の時からですねえ。結局、私が宝塚に残ってきたのも、カンダ先生に出会えたからだと、いま感じますね。

アキコ 私は人ととの出会いをとても大事にしたい。



但馬 久義さん

ダンスの中に先生の生き方、哲学生が明確に織り込まれて いる中で、先生のレッスンに出れば原点に戻れら、これだけダンスがあふれています。

スには言葉がないだけにむづかしいけれども、とてもやりがいがある仕事だと思うの。アキコはとても甘えっ子だから、みんなと仲良しになりたい。お稽古場を離れたら、先生、生徒ではなく、お友達として言葉以上のところでのつき合いたいわけ。お客様とは、アキコが踊るのを観て頂くことで会話がしたい。ダンスってやっぱり、中から出てくる動きが言葉だから。アキコはダンスと私生活が一緒になっちゃってて、ダンス以外、何も出来ないし。今度初めて神戸で公演することになって、初めての所だけに、どう私が感じ、神戸の皆様に、どう感じてもらえるかということが恐ろしい。とても興奮してるの。但馬 私は下級生の頃、先生にすごく怒つてもらった記憶があるんですね。それがやっぱり自分を支えてきたという気がします。宝塚はあらゆることをやるけれども、私は踊りから発したお芝居であり、歌であるんです。

埼玉県大宮市生まれ
7歳から石井小浪に師事
日本女子大学国文科在学中、マー
サグラハムの公演に感動
19歳渡米、マーサの舞踊学校入学
1970 「フォーシーズン」芸術祭
優秀賞受賞
1975 「コンシエルジュリ」芸術
祭大賞受賞
「智恵子抄」('71)「葛葉のおん
な」('76)「多毛留」('80)「マグ
ダラのマリア」('84)など多数の
作品発表現在、アキコ・カンダ
ダンスカンパニーを主宰。宝塚歌
劇団や演劇の振付けも担当。

るんです。そういうものを持てた私は幸せです。

アキコ 素直な精神になれるということが、この世の中

あまりにも少ないと思うの。だから、自分を全部白にする場もないし、そういうことを教える人達も少なくなっている。

宝塚で教えていて、一人でも二人でも「ダンスは肉体の言葉だ」ということがわかつてくれる。アキコが信じたダンスを教えたり、触れ合うことでわかつても

らえる人が一人でもいる限り、やりがいのある仕事だと

思っているの。常にアキコも勉強していると思うけれども、バルバラは実を言うと8年前の作品なの。曲を入れ

れ変えたり手を加えて、毎年踊っている。8年間踊つてい

るけれども、レパートリーにはならないわけ。その一回一回が常に初日だから。何回、何百回踊つても、それ

が命ならば、その一日が初日じやなければいけない。初

日の怖さ、緊張がその人を活かすと思うの。全神経が生

きていないければ、出来ないことなんだから。

但馬 それが一度舞台に出てしまうと、全然違うんです

よね（笑）。

アキコ まるでその空気が私のためにあるような
気持ちになっちゃう（笑）。

但馬 先生は海がお好きなんですよね。

アキコ 海はとても優しいし、怖いけれども、海はお母さんの声を聞くよう包んでもらえるよう。悩み事がある時に、海に行って波の音を聞いていると、自分が地球に囲まれているような気持ちになって、ゆとりが出てくるの。とかくモダンダンスは理屈っぽくてわかりにくい

と思われがちだけど、動きで人に感じてもらえたらい

うの。アキコが思う、女性の哀しみだとか、怒りだとか、喜び、憧れを、バルバラの一曲一曲に織りませて踊

るから、もし感動して頂ける部分があつたら、私の心の叫びが感じていただけたんじやないかと思うの。そんな

形で踊りたい。ストーリー性のあるものより、感じあえ

るんじやないか、と思っているの。バルバラの曲に乗せ

て踊るけれども、"This is AKIKO KANDA" という

ものを、ここに一人のダンスに魅せられて、自分の全て

をダンスに捧げた一人の馬鹿な女性が、一生懸命心を込

めて踊りますから、みなさんに もそれを感じとつて頂きたい。

*

*

*

——鳴り止まぬ拍手に応えて、
再び『黒いワシ』を踊るアキコ
・カンダ。子供のよう澄み切
った心、語り口そのままの軽や
かなダンス。指の先、足の先ま
で張りつめた神経からほとばし
るエネルギーが、ひたひたと押
し寄せてくる。黒いワシが、高
く高く舞い上がった空を放心し
たかのように見上げるアキコ・
カンダ

——暗転——

話題のひろば

<I>

世界一のノウハウで 関西の迎賓館を



右上は海洋博物館の東側のホテルオークラ神戸の会場／右下青木会長と後藤社長との鎌入れ式／左上は米倉三井物産大阪支店長、ホテルオークラ後藤社長、青木会長、宮崎市長、石野会頭、ホテルオークラ佐藤専務、武田三井物産大阪副支店長／左下は貝原知事と青木会長を囲んで。

野田岩次郎名誉会長・青木虎雄会長・後藤達郎社長の、関西初進出となるホテルオークラ神戸（野田岩次郎社長）の起工式が、三月九日、神戸開港一二〇年祭を前に、港と人を結ぶメリケンパーク内で工事担当者や元町、大丸など近隣の商店など約二〇〇名が参加して、六四年四月オープンをめざしてスタートした。ホテルオークラは、昨年、世界NO.1ホテル（英国のユーロマネー誌／金融専門誌選）と、国際的評価を受けた業界のトップホテルで、コンベンションと観光・ファッショントリニティをめざす神戸にとっては待望の進出。建設場所は、神戸海洋博物館の北隣り。設計は観光企画設計社、施工は、鹿島、大成、大林組、野村建設工業KKなど四社が共同で施工する。三万九百四四坪の敷地に一萬二千八百坪、地上三十五階、地下二階、延べ六万四千九一坪米ある三千人の宴会場も出来る。起工式には、宮崎市長、貝原知事、石野信一商議所会頭らがメッセージ。青木虎雄会長は「神戸で絶景のメリケンパークという土地に建てられる幸せを、世界一といわれております私共のノウハウをもつて『関西の迎賓館』に」と、トップホテルマンの心意気充分だ。

■盛り上る街造りシンポジウム

話題のひろば

<II>

旧神戸商工会議所 再利用コンペ募集



（上左より）安田丑作神戸大学教授、村上和子ディレクター、建築家の竹山清明さん、嶋田勝次神大助教授、彫刻家の小林陸一郎さん、都市計画家の小林郁雄さん（中左より）熱気溢れるパネルディスカッション、旧神戸商工会議所ビル（下左より）西山京大名誉教授の講演、港めぐりの船に乗ってワインで乾杯するスタッフ（右上より）西山京大名誉教授、神戸一生コンペ委員長、宮西悠司事務局長

「旧神戸商工会議所ビルを通じて、ウォーターフロントと都市空間の歴史性と文化性を考える」と名付けられ、単なる保存運動だけでなく、都市造りのあり方をも考えるシンポジウムのため、講演とパネルディスカッションが用意された。

講演は、西山京大名誉教授による「心に残る都市空間」。

パネルディスカッションには、嶋田勝次神大助教授、都市計画家の小林郁夫さん、彫刻家の小林陸一郎さん、建築家の竹山清明さん、サンテレビの村上和子さんがパネリストになり、議論を戦わせた。

また、宮西悠司事務局長の会の説明を受けた、神戸一生コンペ委員長より、旧神戸商工会議所ビルの再利用コンペの募集要綱が発表された。（要領は後記）

シンポジウム閉会の後、有志は港めぐり船に乗り、元町商店街寄贈の元町ワインで盛り上がった。

■再利用コンペ募集要領
募集期間 4/26-25
登録料 5千円 最優秀作品 1点 3万円 優秀作品 3点各 1万円贈

現在の神戸の街造りに大きな波紋を投げかけた、旧神戸商工会議所ビルの保存を巡るシンポジウム

が3月7日（土）神戸農業会館にて行われた。当日は、雪が舞う悪天候にもかかわらず、約100名もの人々が参加。

話題のひろば

<III>

笑いの一粒を日本一に



小文枝師匠が挨拶（右上）乾杯は春団治師匠（右中）下村社長も祝辞（右下）楠本喬章さん（中上）鶴枝さんは故松鶴師匠の物真似で（中下）花束を受ける楠本さん（左上）小文枝、春団治、松之助三師匠の手綱め（左中）満員の会場（左下）

笑いを愛し、神戸の寄席を15年に亘って支えて来た笑クリエイトに互つて支えて来た笑クリエイトの楠本喬章さん。裏方人生そのままの無頼漢が、スポットライトを眩しそうに浴びた。もとまち寄席恋雅亭100回公演を記念して、パンフレット復刻版を作り、「きろくのきろく」と題して出版。3月2日夜、元町風月堂ホールでの「出版を祝う会」には、160名余がお祝に駆けつけた。

上方落語協会会長桂小文枝さんが「神戸の寄席を一手に引受け、我々漚家の練習場を作ってくれる楠本さんには、お世話になり感激です」と挨拶。風月堂下村光治理長も「恋雅亭あっての風月堂ホール。お陰で私も、文化人の評価が上がりました。有難うございます」と感謝の言葉。桂春団治師匠の発声で乾杯の後も、井戻昌一市立博物館長、中島隆神戸地下街副社長、松井一郎元文化ホール館長をはじめ、放送作家三田純一、古川嘉一郎、漫画家高橋孟、丘あつし、タレント西條笑児、歌手の伊勢功一、永山太一（神戸のターポ坊）、梅田コマ劇場中山紀、新歌舞伎座北浦俊男他、各氏の祝辞は続いた。約30人の若手落語家に、桂文我、笑福亭松之助両師匠を加えてのリレー祝辞には、楠本さんと親交の深かつた故松鶴師匠も笑福亭鶴枝さんの声色で登場、雲の上での祝杯をあげているようだった。

話題のひろば

<IV>

巨大なアート空間 "モード・ピア"



(左上)記者会見会場風景 (右上)作品の模型を披露する彫刻家の新谷秀紀氏 (左下)バースを示しながら詳しく説明する建築家の松本清氏 (右下)作品をパツクにステンドグラス作家の三浦啓子さんと川上勉代表

総合アパレルメーカーのオールスタイルグループ（川上勉代表）の本社が、この度ボーアイのファシションタウンに移転する。その後に控えた3月12日、神戸商工貿易センタービルにあるレストラン・バーグにおいて、新社屋の発表記者会見が行われた。

「個性の香り高い生活文化を提案したい」という願いを込めて“モード・ピア”と名づけられた新社屋は、地上6階、地下1階と地上1階の2棟建て。建て物の中には豪華なステンドグラスが使われている。他、庭園には年中花が咲き乱れる花壇や、10体に及ぶ彫刻が飾られるなど、モード・ピアの名のごとくアート性の高いスペースになるものとして注目されている。

制作プロジェクトには、建築家の松本清氏の他、彫刻家の新谷秀紀氏、ステンドグラス作家の三浦啓子さんなど、いずれも日本を代表する名ジャンルのアーチストが参加。スペース全体が一つの巨大な芸術作品となる。

記者会見の席上では、各関係者がそれぞれ制作に当たっての意欲を披露。また、6月6日のオープニングの日に配られるグロキシニアの花の見本が詰めかけた報道関係者にプレゼントされるなど、文字通り華やかな記者会見となつた。

'87 EARLY SUMMER COLLECTION

地中海の日差しの色が、届いております。



serizawa

KOBE

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL 078-331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■P-4ショップ ■メンズセリザワ KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI

Spring
Fashion
Special

SCARVES



春のおしゃれはスカーフで。4月、女性たちが重いコートを脱いで、軽やかなファッショントを楽しむ季節です。そんな時流行のワンピースを着るのも素敵ですが、スカーフ一枚で思わぬセンスアップができることもあるものです。女性なら誰しも一枚は持っているスカーフ。でもなかなか使いこなしている方はいないようです。そこで今回はスカーフの使い方をアドバイス。冬の間コートの中で防寒の役目を果たしていたスカーフも、春から初夏にかけては“見せる”使い方で大いに利用してみましょう。



例えばネックレスの代わりに。スカーフを軽くねじって結び目を5個作り首に回します。楚々とした表情で胸元にアクセントが。もつと華やかにしたい時はアコードイオン状に折ったスカーフを正面で結んだ後、かたちよくブリーツを広げます。あるいはリボン結びにしてもボリュームは出ます。ちょっと大胆にウエストにもつてきて柄の微妙なニュアンスを楽しむのもおもしろい。ベルトの感覚でつけて頂くと抵抗がないと思います。他にもネクタイやアクセサリーとして使い方は様々。パリジェンヌたちがさりげなくバックにつけるように使わないときは小物として使つても可愛らしいですね。

エルメスブティック

杉本 薫

 SOGO
SANNOMIYA KOBE

新館 5階



左からカサントレ¥18,000、ランパン¥28,000、
エルメス¥30,000

ROYAL SALON パレロアイアル



SISTER CITY of KOBE

POETRY IN SEATTLE

Photograph by Masao Kobayashi

● シアトルの4月

森と湖の都 シアトル

青木 洋一

（神戸市派遣交換教師/シアトル在住）

私がシアトルに赴任したのは、昨年の七月だった。シータックエアポートを一歩出た私は、緑につつまれた新鮮で雄大なシアトルの風景を目の当たりにし、ことばを失い、ただ感動の声をあげるだけだった。

シアトルは多くのアメリカ人にとって一度は住んでみたい町だそうだが、ワシントン湖をはじめあちこちに点在する美しい湖、りすが当たり前のように歩きまわる公園、周辺には自然の偉大さをさまざまと見せつけるカスケード山脈、自然を心から愛するアメリカ人がシアトルを愛するのも頷ける。

私のシアトル勤務もあと四ヵ月あまりとなった現在、帰国後、神戸の子供たちにも、この美しく雄大なシアトルを少しでも味わってもらえるように、カメラを片手にあちこち歩きまわっている。



KOBE EXCELLENT SHOP

★選りすぐった一点を…。

Sandohe

神戸市中央区元町通2丁目5-7 ☎331-4707

★世界のチョコレート



一番館

神戸市中央区元町本通1丁目8-5 ☎391-3138

★欧風家具・設計・創作

永田良介商店

神戸市中央区三宮町3丁目1-4 ☎391-3737~9

★世界のオシャレをお届けする

ウヌ

KOBE LINE
神戸市中央区元町通1丁目4-13 ☎331-3112

★婦人帽子

マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 ☎331-6711

★伝わる真ごころ手づくりの風格

柴田音吉洋服店

神戸市中央区元町通4丁目2-22 ☎341-0693

★舶来品ブティック

ユスター・ニュートン

神戸市中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1818

★本格派の人々に愛される

ヨシオカ

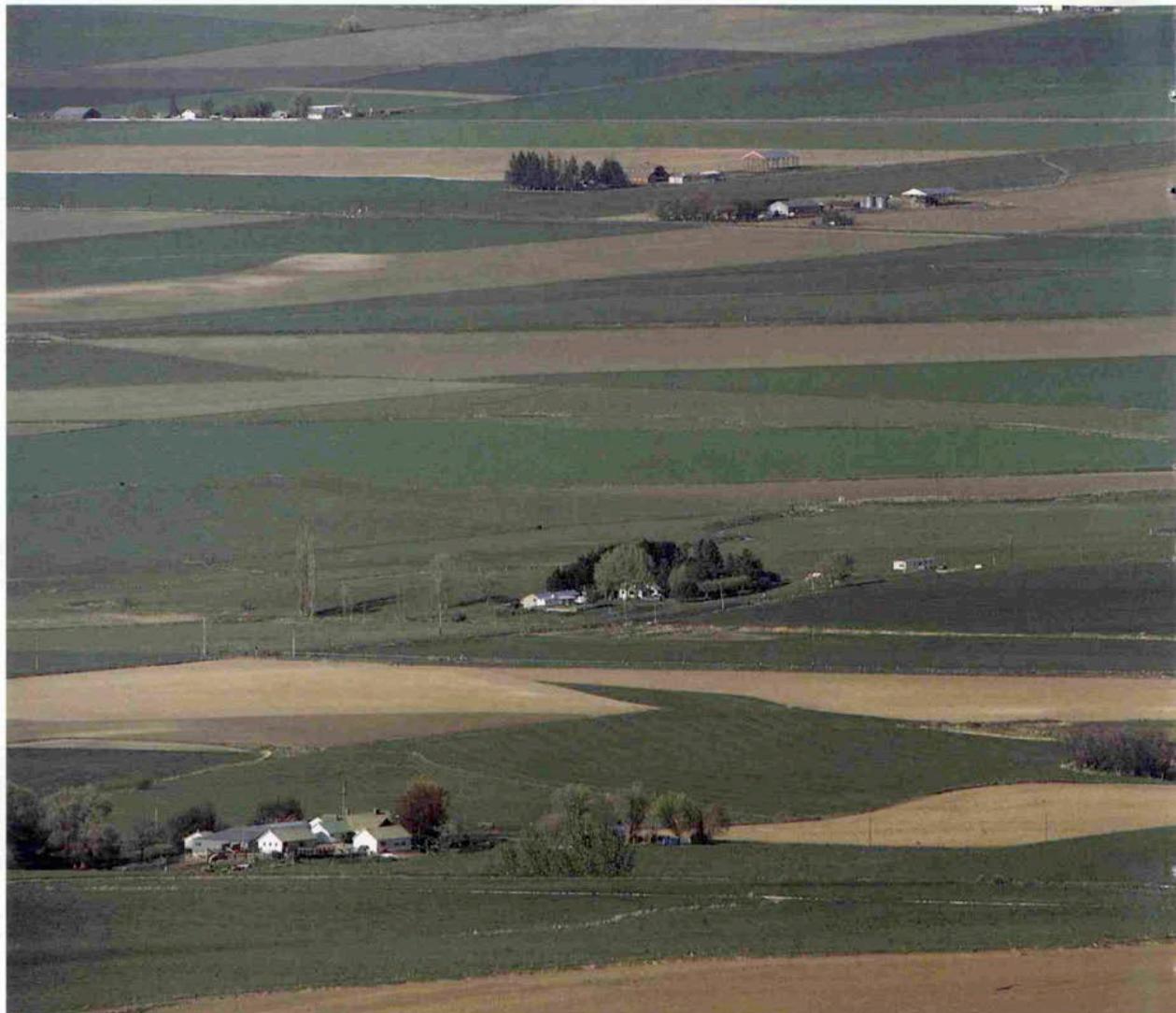
神戸市中央区三宮町3丁目1-9 ☎331-5190

★よろず御縫衣縫上處

神戸シャリ

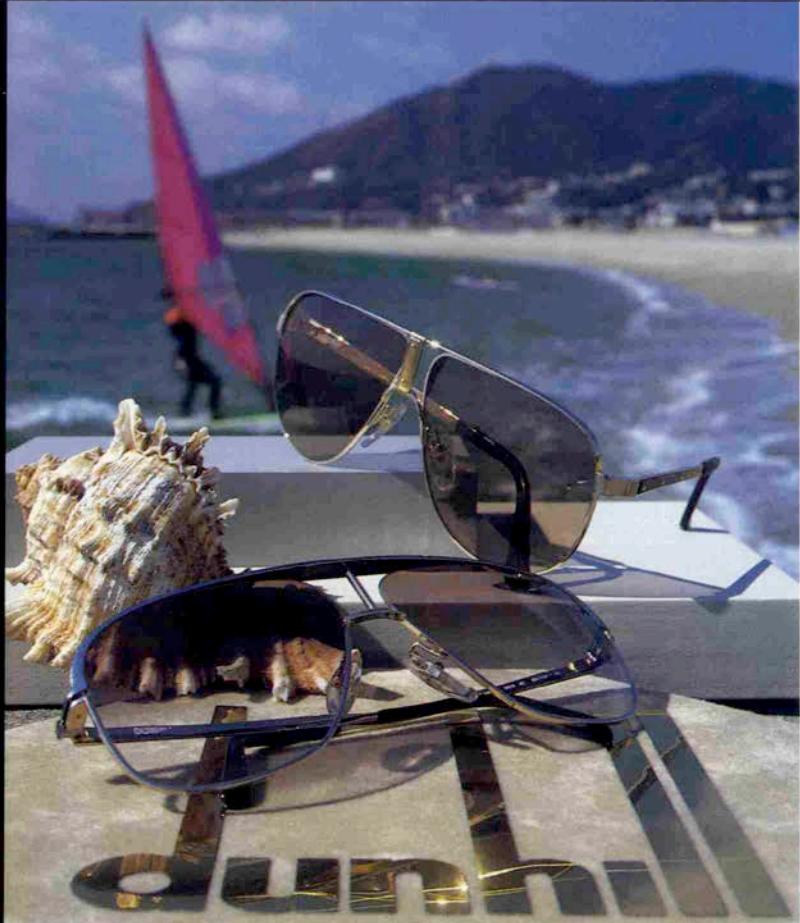
神戸市中央区三宮町3丁目1-6 ☎331-2168

※このシリーズは上記9社の専門店の提供によるものです。



シアトル郊外田園風景

PRELUDE TO EARLY SUMMER'87



忘れかけていたビーチ
かがやかしい日射しを受け、サングラス……
いま、あらたな夏への序章が始まる。

伝統の流れに新しい水を汲む



神戸眼鏡院

元町店 / 神戸市中央区元町通3丁目
TEL (078)321-1212(代)
三宮店 / さんちかローザアベニュー
TEL (078)391-1874~5

ファッション都市神戸を彩る



祝／開港120年



KFK

神戸婦人子供服小売商組合

(株) ファミリア (資) 芸 夢 (株) アオイ (資) 大学堂眼鏡店 (株) そごう神戸店
 (株) アカシヤ (株) 三愛神戸三宮店 石崎商事 (株) モードショップトラヤ (株) 大丸神戸店
 (株) ウインザーデート (株) ソニープラザ (株) 日欧洋装 (株) 阪急百貨店神戸店
 日本モード (株) 東京屋 (株) 川村商店 マミー (株) 三越神戸支店
 (株) ベニヤ (株) サロンデモード中西 (有) コール (年) マルトシ (株) ダイエー
 (株) プティック・セリザワ パリー モード (株) コマツヤ (資) 美登里屋 (有) シンワ洋装店
 マスヤ (株) マキシン S A I J O ラ・モード洋装店 (有) スギヤ
 (株) ミヤムラ (株) まささブ 靴店 (株) リザ神戸地下街 (株)
 (株) マルダイ (有) ミッチャン (株) 春貴洋装店 (株) マミーナー

■事務局/〒650 神戸市中央区西町36 三菱信託銀行ビル8F ファミリア内 ☎(078) 321-0345

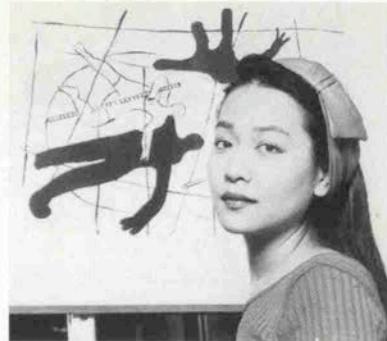
帽子とKOB

平田和子

〈帽子デザイナー
ギャラリー・ドラ・ペオナー〉アメリカから輸入された'87夏コレクション
モデル・小西美千子さん

神戸の街と帽子と言わると、私は戦前元町にあった美しい千代田帽子店を思い出します。戦前帽子と言えばおしゃれな人はここへ来て買つていきました。

私も京都に住んでいましたがよくここで買いました。夏の黒い広つばでペールのリボンが垂れ下がったコーディヤスな帽子を買つて帰り、私の持つている服には豪華すぎてしまつたのですが、帽子ではしばしばこの経験をしました。帽子はこう言う魔性を持ったものです。戦前から戦後にかけて帽子の流行した時、その素材は神戸の港から世界中に船積



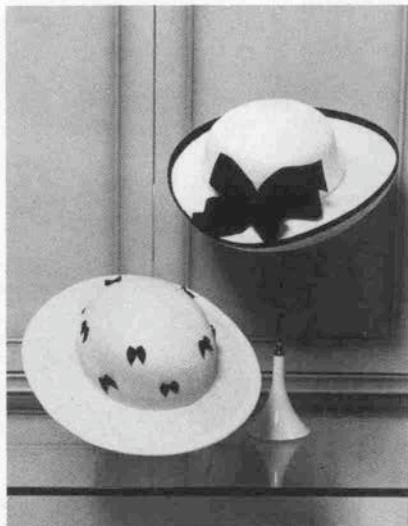
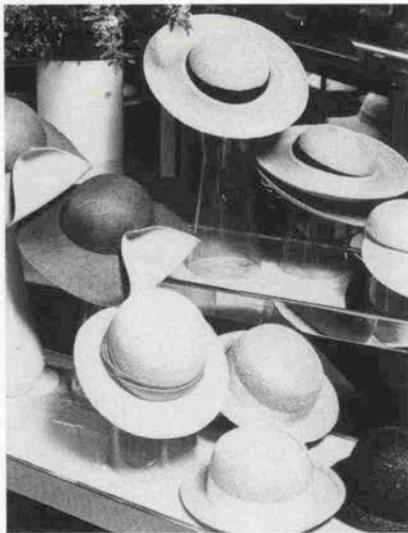
みされたものでした。

一九六三年、私はパリで帽子の勉強をしました。その時扱う材料は殆ど日本製でした。パリでは、上等の帽子を作るとき、木型を使わないでバクラム（フランス名スパートリー）で型を作つて固めたものを元型にしていました。

私は、その型の造り方を勉強したのですが、これは帽子にはなくてはならない材料で山口県の岩国で製造していました。日本では安いものでしたけれど、パリで買うと高く、日本では当時重要輸出品で、私達はその余りをわけてもらっていました。フランスの帽子によく使うレースというビスカの織物、ストローブレード等ほとんど岡山県の農家の副業として製造しているものでした。それを神戸へ集散して輸出していたので、これを扱う業者はたくさん神戸において、当時は百五十軒あったと言います。

パリの地下鉄のカトルセブテンバー（九月四日の意）の駅の近所、ニューヨークの二十九丁目はミリネリー・ストリートと書いて、帽子の業者が軒を並べていました。皆日本からの材料で帽子を造っていたのです。今は帽子の衰退と共に、神戸の業者もやめてしまい僅かの人達がやっています。パリやニューヨークも少なくなつてしましましたが、最近帽子が流行つて来たようです。

かつては帽子が神戸に繁栄をもたらし、世界のモードを創る材料を提供してましたのが、歴史的に見て帽子と神戸は深い関係があるのです。昔のように「帽子は神戸に買ひに行きましょ」という時代が来るとはさうじとおもいます。



撮影協力・マキシン